

ブックレビューを書いて、読書の幅を広げよう

「本をみんなにすすめよう」（東京書籍）

本単元で育成する「21世紀型スキル」

◎論理的思考力・批判的思考力

1 単元設定の理由

【単元について】

本単元は小学校学習指導要領国語第3学年及び第4学年の目標及び内容C(1)オ及びカを受けて設定したものである。

本単元は、本を通して疑問点を話し合ったり、それらを共有して一人一人の感じ方に違いがあることに気付いたりすることに適している。

また、本のおすすめ度を物語の内容や登場人物の性格などの観点別で分析した上で「ブックレビュー」として表すことで、根拠をもとに感想をもつことができる。これらのことから本校が目指す「21世紀型スキル」の論理的思考力や批判的思考力を育成するのに適した単元といえる。

【児童の実態】4年1組16名（男子5名、女子11名）

①本単元にかかわる児童の実態

本学級の児童は文章を読んで理解したことは話せるが、そこから文章に対して自分の体験と結び付けたり、疑問点を見出したりできる児童は少ない。また「読んだ本についての感想をよく話す・時々話す」と回答した児童は31%であり、本について「共有する場」が少ないことが分かった。そこで感想を交流する場を設定し、同じ文章を読んでも一人一人の感じ方などに違いがあることに気付かせ、多角的な視点から考えを形成させる力を身に付けさせたい。

②学校図書館活用にかかわる児童の実態

読んだ本を互いに交換し合うなど読書に親しみを感じている児童は多い。「本を読むのは自分のためになる」と回答した児童は100%であり、学校図書館の活用が定着してきていることが分かる。

【指導に当たって】

- ・単元全体を通して、「同じ本でも読む人によって、感じ方はどのようにちがうのか」という問いを設定する。単元前半で既習の教材である「ごんぎつね」についての様々な書評（ブックレビュー）を示すことで、自分たちもブックレビューを作成してみたいという意欲をもたせる。
- ・一人一人の感想を観点別に分類することで、いろいろな観点で作品を分析することのよさに気付かせる。
- ・本の評価を星の数で表すとともに、物語のどこに着目したのか根拠を明確にすることで、自分の考えを論理的に表現する力の育成を図る。
- ・感想を伝え合うことで、自分の感想だけにとどまらず、友達が文章のどこに着目し、どのような感情、経験と結び付けて読んでいるのか考えを広げさせる。

【単元の目標】

○幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。

【知識及び技能】(3)オ

○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

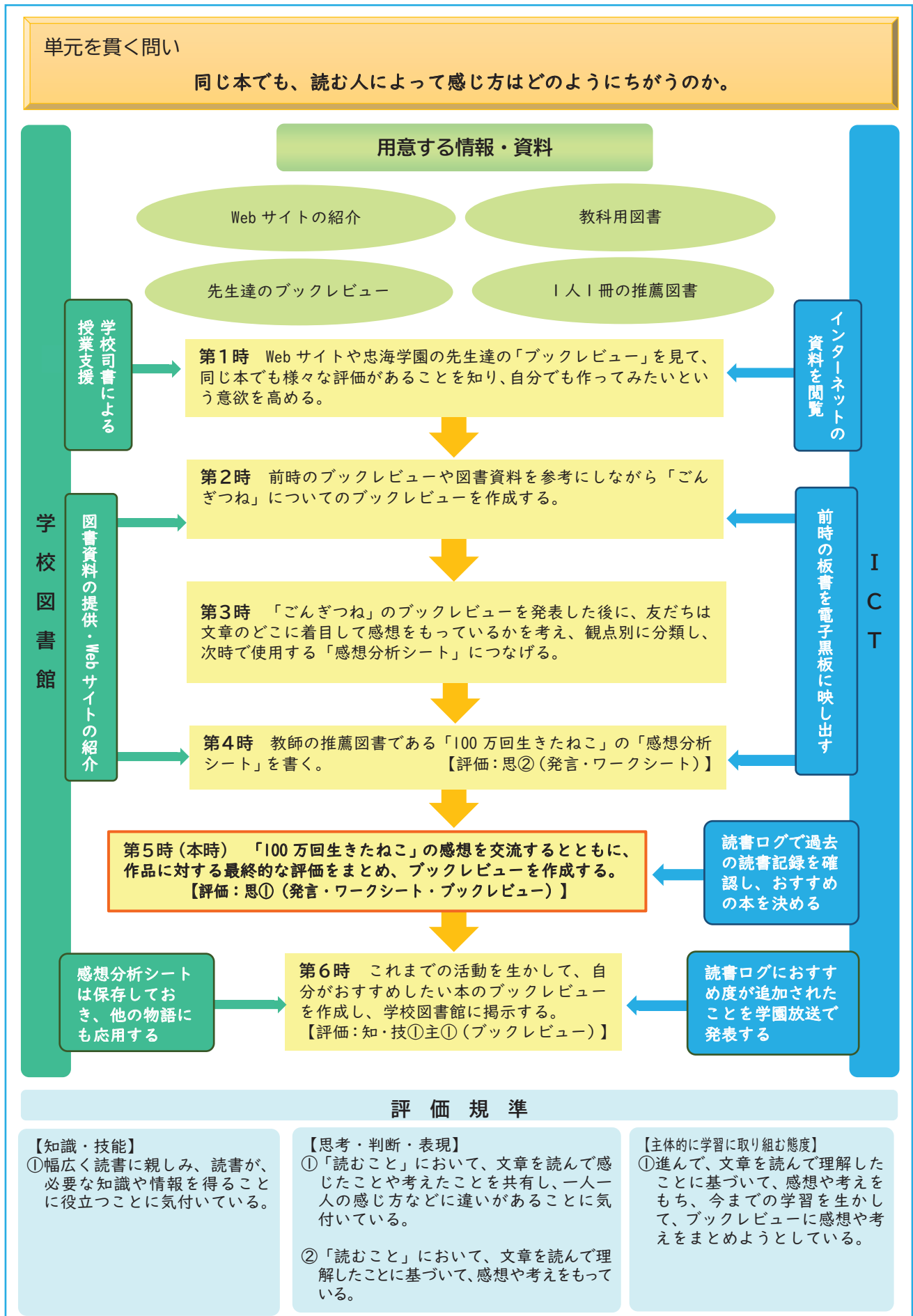
○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)カ

○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

2 単元構想図（指導と評価の計画）



3 本時の学習（本時5／6時）

(1) 本時の目標

○読んだ本の感想について、同じ本でも読む人によってさまざまな感じ方や考え方があることよき気付くことができる。

(2) 準備物

- 感想分析シート ○ブックレビューの用紙
- 推薦図書 ○電子黒板（前時の板書や活動を映し出す）

(3) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項（○）及び「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て（◆）	評価規準（評価方法）及び学校図書館・ICT活用のポイント
1 本時の中心課題を確認する。		
「100万回生きたねこ」のブックレビューを書こう！		
<p>2 前時に作成した感想分析シートをもとに「100万回生きたねこ」の感想と星の数を発表する。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は星2つです。理由は何回も生き返っていたねこが、最後には本当に死んでしまって悲しかったからです。 ・私は星3つです。理由は最初同じような話の繰り返しでつまらなかったけれど、最後は本当に死んでしまって予想外の展開になったからです。 ・私は星4つです。理由はねこは誰が飼い主になっても大嫌いになってしまっていたけれど、最後には大切な家族ができて幸せそうに思えたからです。 	<p>○児童はそれぞれ自分の感想にあった観点を選びワークシート（感想分析シート）を作成している。ここでは、自分なりのおすすめ度（星の数）を複数の観点から説明させる。（感想分析シート）</p> <div data-bbox="823 1093 1359 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> </div> <p>○「ごんぎつね」で見付けた観点（物語の内容、登場人物の性格、話の展開、自分との関わりなど）を想起させながら発言するよう助言する。</p> <p>◆全体発表の前に少人数のグループで感想を交流させることで、意見を出しやすい雰囲気をつくる。</p> <p>○記述したことだけを羅列して発表するのではなく、交流の中で思いついたことなども自由に発言させる。</p> <p>○友達の意見で参考になった点は感想分析シートに追記させ、新しい見方を広げさせる。</p>	<div data-bbox="1129 808 1449 1016" style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;"> <p>ICT活用のポイント 前時の板書を電子黒板で振り返ることで考えた過程を想起させ活動に入りやすくさせる。</p> </div> <div data-bbox="1129 1711 1449 1899" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <p>学校図書館活用のポイント 考えの根拠になった場面はどこなのか、手元の本でいつでも確認できるようにしておく。</p> </div>

- 3 感想を交流する中で生まれた「なぜ」について考える。
- 【なぜ、ねこは最後に生き返らなかったのか】
- ・自分よりも大切にしたいと思える人ができたから。
 - ・白猫と天国で一緒にいたくて、本当は生き返りたくなかったから。
 - ・最後にやっと「生きる」ということの意味が分かったから。

- 4 最終的な星の数を決めて、ブックレビューを作成する。
- ・私は星2つから星4つに変えました。理由はAさんの考えを聞いて「死」のイメージが暗いものから明るいものもあると初めて知ったからです。
 - ・みんなの考えを聞いて、私は星3つから星5つに変えました。理由は飼い主を「大嫌い」とばかり言っていたねこが白猫の前では「そばにいていいかい」と言ってねこが変わったことが分かったからです。

5 次の学習の見通しをもつ。

- 登場人物の行動や気持ちの変化を踏まえて発言するよう助言する。
 - ◆予測するのが難しい児童には「もしかしたらねこは・・・だったのかもしれない」という話形を示し考えやすくする。
 - 交流して出し合った感想をもとに、物語全体を通してのテーマを改めて考えさせる。
 - テーマについてはあまり深入りせず、一人一人の見方・考え方を大切に
 - 同じ本でも様々な観点から読むことよさを実感させた上で、最終的な評価を行わせる。交流する中で、自分の考えが変わることは大いに認める。
- (ブックレビュー例)

学校図書館活用のポイント
はじめとはちがう観点でもう一度読めるように一人一冊用意する。

文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
(記述・発言)

本の題名『	100万回生きたねこ	』
私のおすすめ度	☆☆☆☆☆	
私は星4つです。理由は、ねこはだれが飼い主になっても大きらいになってしまっていたけれど、最後には大切な家族ができて幸せそうに思えたからです。		
名前()

ICT活用のポイント
読書記録サイト「読書ログ」を見直して、今まで読んだ本の中から、ブックレビューを書きたい本を探す。

- 本時を踏まえた上で、自分の推薦したい本のブックレビューを書くことを告げる。

(4) 板書計画

10/13 (金) めあて 「100万回生きたねこ」のブックレビューを書こう!

星の数が変わった理由

- ・死ぬことへのイメージが変わった。
- ・何となく気持ちのよい終わり方だと思った。

【☆】 【☆☆】 【☆☆☆】 【☆☆☆☆】 【☆☆☆☆☆】

- ・「死んだ」ばかり。
- ・よく分からない話だった。
- ・くり返しが多かった。
- ・生き返らなかったのがかわいそう。
- ・大きらいなものが多いねこ。
- ・予想外な結末だった。
- ・始めはつまらない。
- ・最後になぜ死んだ?
- ・最後「死んだ」ことは本当に「生きた」こと。
- ・ねこの表情が豊か。
- ・自分が大好きなねこが面白い。
- ・最後が感動した。
- ・大好きな人に出会えた。
- ・「そばにいていい?」
- ・自分よりも大切な人ができたから。
- ・「生き返りたくなかった」白猫といっしょにいたい。
- ・家族ができて自分を大切に思ってくれる人ができたから。